

<b>歴史 I (History I)</b>		<b>2年・通年・2単位・必修</b> <b>5学科共通 担当 大矢 良哲</b>
〔準学士課程 (本科 1-5 年) 学習 教育目標〕  (1)	〔システム創成工学教育 プログラム学習・教育目標〕	〔JABEE 基準〕
〔講義の目的〕 歴史の学習の目的は、過去に学ぶ、つまり今と未来への道標を探ることにある。日本史の場合、その目的は、過去の文化的伝統の中から、われわれが本当に誇り得るもの、明日の日本の発展、さらに人類全体の向上のために貢献し得るもの、反対に、日本民族の進歩を妨げてきたもの、今後一日も早く清算されなければならないものを的確に見分け、それぞれにふさわしい正当な位置づけを行うところにある。歴史では基本的な事実を正しく理解し、歴史的なものの見方を育てていきたい。		
〔講義の概要〕 講義は、時間の関係で、原始から近世までの通史と近現代の一部を取り上げる。近現代は、“アジアのなかの日本”をテーマに平和学習を行う。 夏休みには調査レポートを課し、授業の中に発表の機会を持つ。		
〔履修上の留意点〕 歴史学という学問は、過去に向かってわれわれの探究心を無限に伸ばしていくものだから、知的遊戯としての楽しさを含んでいる。しかしそれは過去を過去としてのみ後ろ向きに見るものではない。むしろ前向きの実践的な性格の強い学問であり、人々の生き方そのものに直結している。歴史は暗記ものだというような考え方は、この点が理解されてないことによる。歴史学は、経済学・法学・政治学などとは違って、社会諸現象の総体を有機的に捉え、これを時間の経過において問題にするところに特色がある。テストの際に暗記さえすればよいという考えは捨てていただきたい。むしろ歴史の流れを理解するほうが大切で、そのために多少の歴史的用語の学習が必要となるのである。		
〔到達目標〕 学生諸君が、日本の歴史を、日本をとりまく世界の歴史とのつながりのもとに科学的に理解しようとする。そのためには、まず日本史の正確な理解が要求される。		
〔評価方法〕 以下の3つの項目で成績評価を行う。 定期試験 (60%) …前期中間・後期中間・学年末に実施。 レポート (25%) …夏休みには平和学習・文化財学習の課題を出す。そのレポートの内容、発表の仕方は定期試験と同等に評価する。残り 15%は授業への参加 (出席および授業に臨む姿勢) 等で評価する。		
〔教科書〕 講義は、配布資料を中心に、ノート整理、補助教材などによって理解を深める。 〔補助教材・参考書〕 補助教材は「ビジュアルワイド 図説日本史」(東京書籍)。		
〔関連科目・学習指針〕 本教科は地理・歴史 (世界史)・政治経済・法学・経済学等の科目に関連する。		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	歴史とは何か、旧石器時代	歴史の学び方や文化の始まりについて。	
第2週	縄文時代	縄文時代の文化について。	
第3週	弥生時代	弥生時代の文化について。	
第4週	ヤマト政権の成立と古墳文化	ヤマト政権の成立と古墳文化について。	
第5週	聖徳太子の政治と飛鳥文化	聖徳太子の政治と飛鳥文化について。	
第6週	改新政治の進展と白鳳文化	大化改新後の政治と白鳳文化について。	
第7週	律令体制の成立と農民生活	律令体制の成立と農民生活について。	
第8週	平城京と奈良時代の政治	平城京・遣唐使と奈良時代の政治について。	
第9週	〔近代〕 アジアのなかの日本 大日本帝国の戦争	大日本帝国の戦争を映像によって概観する。	
第10週	太平洋戦争への道	太平洋戦争直前の日米関係史料を読む。	
第11週	植民地支配の実態	アジア太平洋戦争の植民地・占領地支配の実態を探る。	
第12週	空襲、沖縄・広島・長崎	ビデオ教材で戦争終結の過程を検証し、戦争被害について考える。	
第13週	民主化と戦後改革	戦後の改革と日本国憲法について、戦後日本の原点を探る。	
第14週 第15週	レポート発表	夏休みの課題（平和学習）の調査報告を実施する。	
第16週	天平文化	天平文化について。	
第17週	律令体制の再建と貞観・弘仁文化	律令体制の再建と貞観・弘仁文化について。	
第18週	摂関政治と荘園制	摂関政治の展開と荘園制の発達について。	
第19週	院政と国風文化	院政と国風文化について。	
第20週	平氏政権と鎌倉幕府	平氏政権と鎌倉幕府の政治について。	
第21週	鎌倉文化	鎌倉文化について。	
第22週	南北朝の動乱と室町幕府	南北朝の動乱と室町幕府の政治と外交について。	
第23週	惣の形成・土一揆・応仁の乱	惣の形成と土一揆・応仁の乱について。	
第24週	室町文化	室町文化について。	
第25週	戦国大名の出自と分国支配	戦国大名の出自と分国支配について。	
第26週	織豊政権の天下統一	織田・豊臣政権の統一事業について。	
第27週	桃山文化と江戸幕府の成立	桃山文化と江戸幕府の成立について。	
第28週	幕藩体制の成立	幕藩体制の成立について。	
第29週	鎖国の完成	鎖国政策とその後の影響について。	
第30週	まとめ		

\* 4：完全に理解した， 3：ほぼ理解した， 2：やや理解できた， 1：ほとんど理解できなかった， 0：まったく理解できなかった。  
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)